

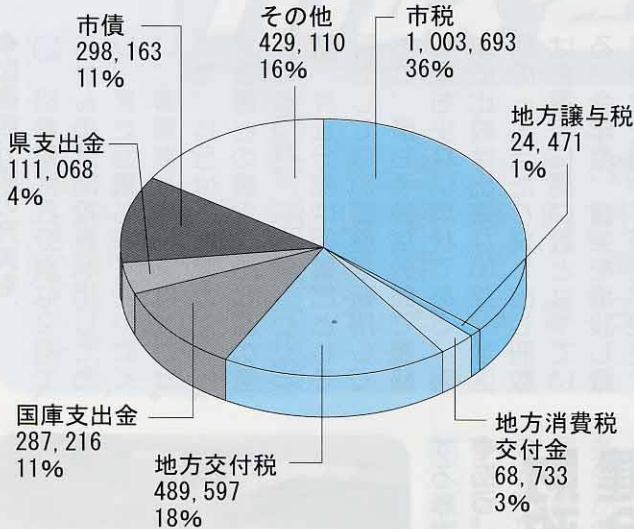
平成19年度決算概要と塩尻市の財政状況

※ 9月定例会で議会へ提出のあった市の決算説明資料より抜粋 ※

平成19年度塩尻市一般会計決算

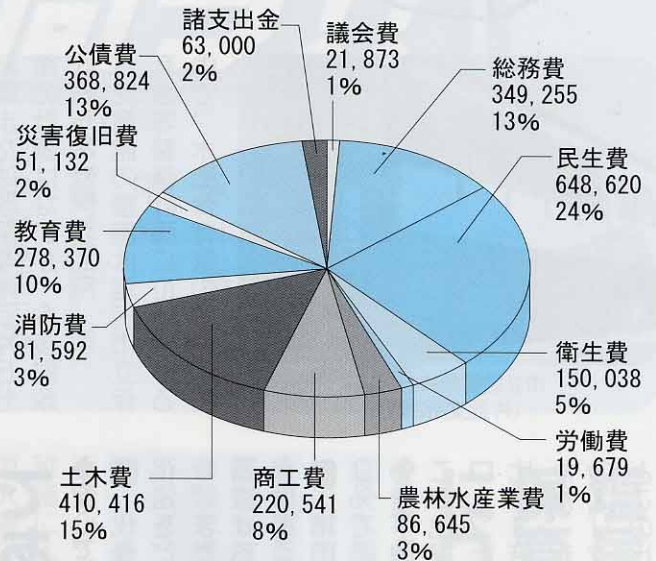
歳入

2,771,652万円
(単位は万円)



歳出

2,749,985万円
(単位は万円)



塩尻市の財政状況

市の財政状況を分析するための5種類の数値について掲載しています。

比較分析できるよう、国（総務省）が人口及び産業別就業人口の構成比によって分類した県内の類似団体（千曲市、安曇野市）の数字を併せて掲載しています。

類似団体	H19末人口	備考
塩尻市	67,023人	H17.4.1合併
千曲市	63,516人	H15.9.1合併
安曇野市	97,642人	H17.10.1合併

積立金残高

将来の財政需要や不測の事態に備えるために積み立てているもの。

塩尻市は県内類似団体の中で市民一人当たりの積立金残高は最も少ない額となっている。

(単位：百万円)

区分	H17	H18	H19
塩尻市	4,698	4,447	4,058
千曲市	6,802	6,928	7,126
安曇野市	9,420	11,995	13,354

市債残高

市債＝大規模な建設事業など、一度に多額の経費が必要な公共事業のための長期借入金

(単位：百万円)

区分	H17	H18	H19
塩尻市	27,193	27,492	27,305
千曲市	27,168	27,315	27,517
安曇野市	35,247	36,201	36,511

自主財源比率

市が自主的に収入し得る財源（地方税・使用料・手数料・財産収入等）の歳入総額に占める割合。行政活動の自主性と安定性を確保し得るかどうかの尺度。

(単位：%)

区分	H17	H18	H19
塩尻市	52.8	51.2	53.3
千曲市	46.5	47.5	49.3
安曇野市	53.0	45.6	47.2

経常収支比率

人件費や公債費等の義務的性格の経常経費に、地方税、地方交付税などの経常一般財源がどの程度充当されているかを見ることで、財政の弾力性が判断できる指標。一般的に市は75%程度が妥当とされている。

(単位：%)

区分	H17	H18	H19
塩尻市	81.3	82.5	89.5
千曲市	84.5	85.3	90.4
安曇野市	82.7	84.5	87.6

実質公債費比率

実質的な公債費（地方債の元利償還金＝借金の返済金）が財政に及ぼす負担を表す指標。

国が示す財政健全化法の基準では、25%をイエローカード。35%を越えるとレッドカードとしています。

(単位：%)

区分	H17	H18	H19
塩尻市	12.0	11.7	9.8
千曲市	11.8	13.4	12.9
安曇野市	13.8	13.8	14.3